

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年1月12日 (2012.1.12)

【公開番号】特開2010-131035(P2010-131035A)

【公開日】平成22年6月17日 (2010.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2010-024

【出願番号】特願2008-297028(P2008-297028)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月17日 (2011.11.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報を表示する識別情報表示手段と、遊技媒体が入球する入球口と、その入球口への遊技媒体の入球を検出する検出手段と、その検出手段により遊技媒体の入球が検出された場合に前記識別情報表示手段に識別情報の動的表示を行わせる周辺制御手段と、その周辺制御手段を制御すると共に、遊技に関する主な制御を行う主制御手段とを備えた遊技機において、

前記主制御手段は、

前記検出手段により遊技媒体の入球が検出された場合に、その入球に伴う情報を取得し記憶する入球情報記憶手段と、

その入球情報記憶手段の内容に基づいて、前記識別情報表示手段に識別情報の動的表示を実行させる動的表示制御手段と、

前記入球口への遊技媒体の入球に基づいて、未実行の動的表示の数を示す保留数情報を取得する保留数情報取得手段と、

その保留数情報取得手段により取得された保留数情報を加工して、その保留数情報に応じた保留数コマンドを作成するコマンド作成手段と、

そのコマンド作成手段により作成される保留数コマンドを前記周辺制御手段へ送信するコマンド送信手段とを備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記保留数コマンドは、コマンドの命令種別を示す種別部と、前記保留数情報に対応する値を示す保留数情報部とを有して構成され、

前記主制御手段のコマンド作成手段は、

前記保留数情報取得手段により取得された保留数情報に、特定の情報を付加したものを前記保留数情報部の値とするものであることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

前記周辺制御手段は、

前記主制御手段のコマンド送信手段により送信される保留数コマンドを受信するコマンド受信手段と、

そのコマンド受信手段により受信された保留数コマンドを加工して保留数情報を抽出する保留数情報抽出手段と、

その保留数情報抽出手段により抽出された保留数情報に応じた表示を行う保留数情報表示手段とを備えていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記主制御手段は、

前記検出手段により遊技媒体の新たな入球が検出される毎に、前記入球情報記憶手段、前記保留数情報取得手段、前記コマンド作成手段、前記コマンド送信手段を実行して、保留数コマンドを前記周辺制御手段へ送信するものであることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 5】

前記主制御手段は、

前記識別情報の動的表示を新たに開始させる場合に、前記入球情報記憶手段に記憶される入球に伴う情報を更新する入球情報更新手段を備え、

前記主制御手段は、その入球情報更新手段により更新された更新後の前記入球情報記憶手段の内容に基づいて、前記保留数情報取得手段、前記コマンド作成手段、前記コマンド送信手段を実行して、保留数コマンドを前記周辺制御手段へ送信するものであることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれかに記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

請求項 2 記載の遊技機は、請求項 1 記載の遊技機において、前記保留数コマンドは、コマンドの命令種別を示す種別部と、前記保留数情報に対応する値を示す保留数情報部とを有して構成され、前記主制御手段のコマンド作成手段は、前記保留数情報取得手段により取得された保留数情報に、特定の情報を付加したものを前記保留数情報部の値とするものである。

請求項 3 記載の遊技機は、請求項 1 または 2 に記載の遊技機において、前記周辺制御手段は、前記主制御手段のコマンド送信手段により送信される保留数コマンドを受信するコマンド受信手段と、そのコマンド受信手段により受信された保留数コマンドを加工して保留数情報を抽出する保留数情報抽出手段と、その保留数情報抽出手段により抽出された保留数情報に応じた表示を行う保留数情報表示手段とを備えている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

請求項2記載の遊技機によれば、請求項1記載の遊技機の奏する効果に加え、保留数コマンドは、コマンドの命令種別を示す種別部と、保留数情報に対応する値を示す保留数情報部とを有して構成され、主制御手段のコマンド作成手段では、保留数情報取得手段により取得された保留数情報に、特定の情報を付加したものを保留数情報部の値としている。よって、主制御手段のコマンド作成手段により保留数コマンドを作成した場合や、周辺制御手段のコマンド受信手段により保留数コマンドを受信した場合などに、その保留数コマンドの保留数情報部に特定の情報が付加されていなければ、遊技機において何らかのエラーが生じていると判別できるという効果がある。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

なお、「特定の情報を付加」とは、保留数情報と特定の値とを加算、減算、乗算または除算することなどをいう。

請求項3記載の遊技機によれば、請求項1または2に記載の遊技機の奏する効果に加え、周辺制御手段では、主制御手段のコマンド送信手段により送信された保留数コマンドがコマンド受信手段により受信され、その受信された保留数コマンドが加工されて、保留数情報が保留数情報抽出手段により抽出され、その抽出された保留数情報に応じた表示が、保留数情報表示手段により行われる。周辺制御手段では、保留数コマンドを加工して保留数情報を抽出するので、例えば、保留数コマンドに対応する保留数情報を取得するために、保留数情報と、その保留数情報に対応する保留数コマンドとを予め対応づけたテーブル情報などを周辺制御手段の記憶手段に記憶しておく必要がない。よって、テーブル情報などを記憶手段に記憶しておく場合よりも、記憶領域の消費を抑制できるので、遊技機に新たな遊技性を持たせるプログラムを追加することなどが可能となり、周辺制御手段の記憶領域を有効に使用できるという効果がある。

なお、保留数コマンドを加工するとは、例えば、保留数コマンドそのものを加工することや、保留数コマンドそのものに何らかの値を加算、減算、乗算、若しくは、除算したものを加工することが例示される。